

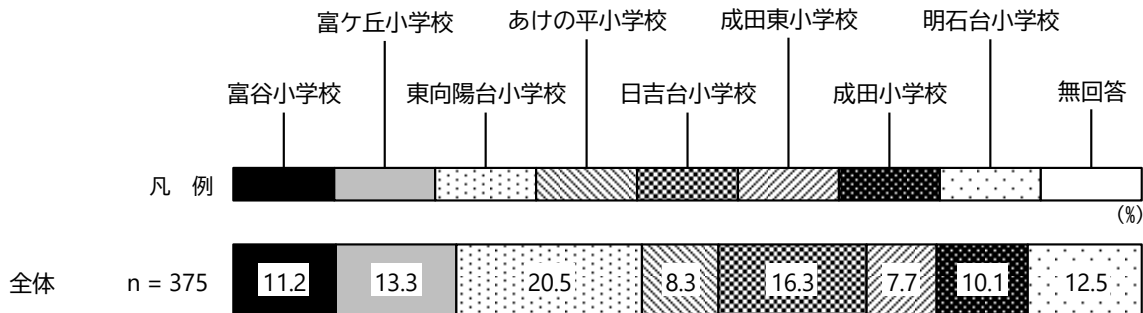
V 小中学生保護者調査結果

1 回答者の属性について

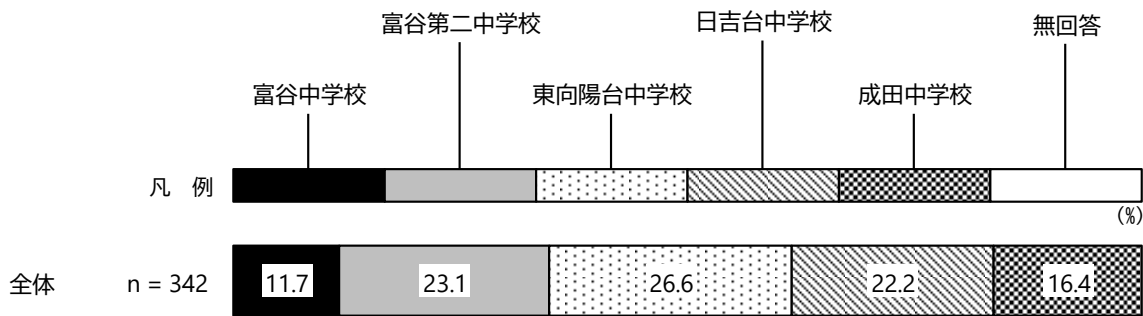
1-1 学校

F1 お子さんの小学校／中学校を教えてください。(○は1つ)

【小学5年生】



【中学2年生】

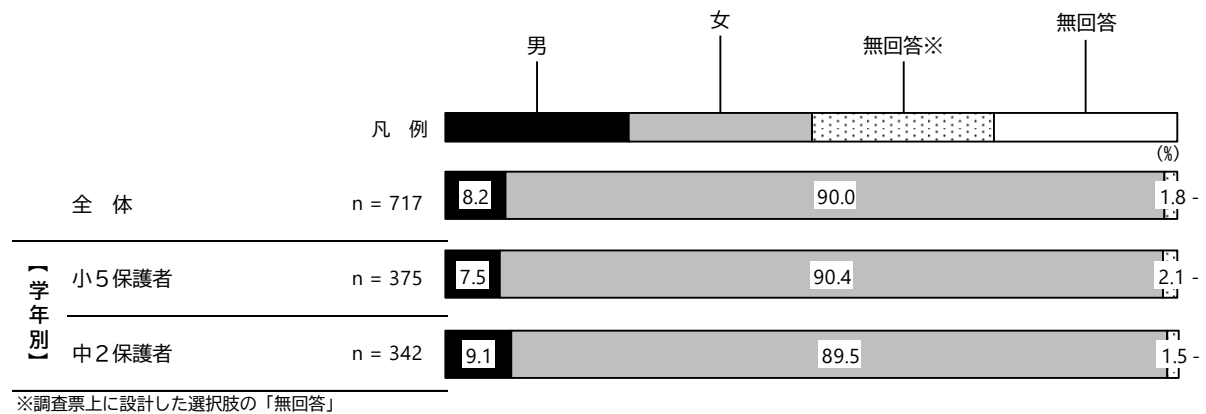


V 小中学生保護者調査結果

1-2 性別

▶ 性別について、男性が8.2%、女性が90.0%となっています。

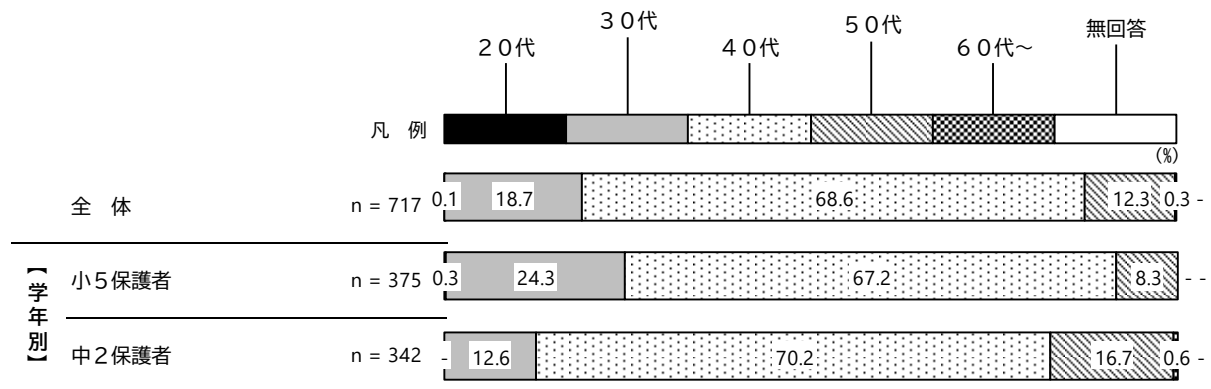
問1 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)



1-3 年代

- ▶ 年代について、「40代」が68.6%と最も高く、次いで「30代」(18.7%)、「50代」(12.3%)となっています。
- ▶ 学年別にみると、小5保護者では「30代」が24.3%と、中2保護者(12.6%)に比べ10ポイント以上高くなっています。

問2 あなたの年代をお答えください。(○は1つ)

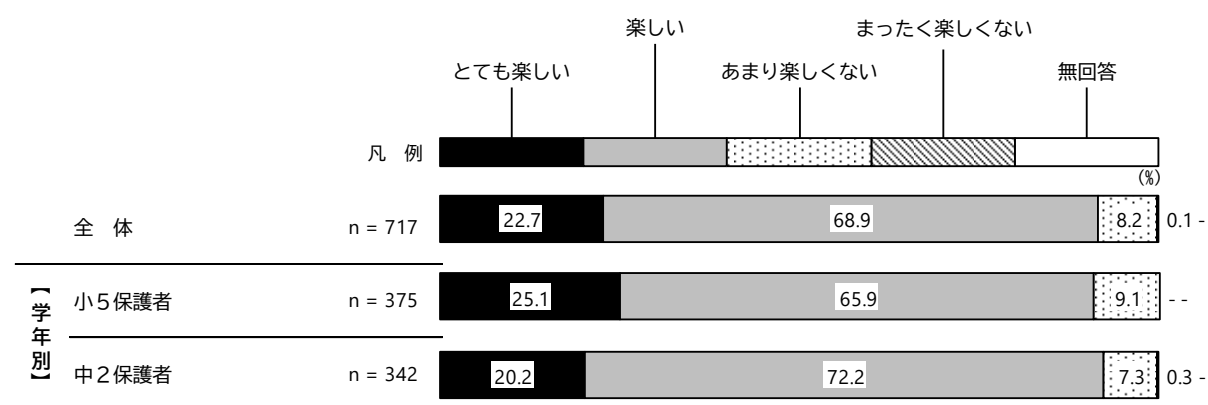


2 食生活等について

2-1 食事の時間は楽しいか

- ▶ 食事の時間は楽しいかについて、「楽しい」が68.9%と最も高く、次いで「とても楽しい」(22.7%)、「あまり楽しくない」(8.2%)となっています。
- ▶ 《楽しい》(「とても楽しい」+「楽しい」の合計)の割合をみると、91.6%と9割を超える結果となっています。

問3 あなたは、食事の時間が楽しいですか。(○は1つ)



<食事の時間が（とても）楽しい理由>

【小学5年生保護者】

- 料理を作るのも好きだし、それを家族に食べてもらうのも幸せな時間だから。食事しながらの家族との会話も楽しいから。(女性 40代)
- 子どもの食べている姿を見ていると楽しい。(男性 30代)

【中学2年生保護者】

- 成長と共に子どもと関わる時間が減っていく中、一緒に過ごしたり、その日の出来事などを少しでも共有できる時間だから。(女性 40代)
- 食べることは幸せなことだから。特に子どもたちと食べる時間はとても大切な時間と感じている。(男性 40代)
- 食べることは身体も心も癒されるご褒美でもある。食べないと元気になれないし、力が湧かない。(女性 50代)

<食事の時間があまり／まったく楽しくない理由>

【小学5年生保護者】

- 献立を立てたり、調理したり栄養バランスを考えたり、準備するのが苦痛だから。(女性 40代)
- 子どもの躰をしながら食べるのが面倒だから。(男性 40代)
- ゆっくり食事をとる時間がないから。(女性 40代)

【中学2年生保護者】

- 習い事の終わりが遅く慌ただしくなるから。(女性 40代)
- 安い食材を探して買って作って食べるので食べる頃には疲れているから。(無回答 40代)

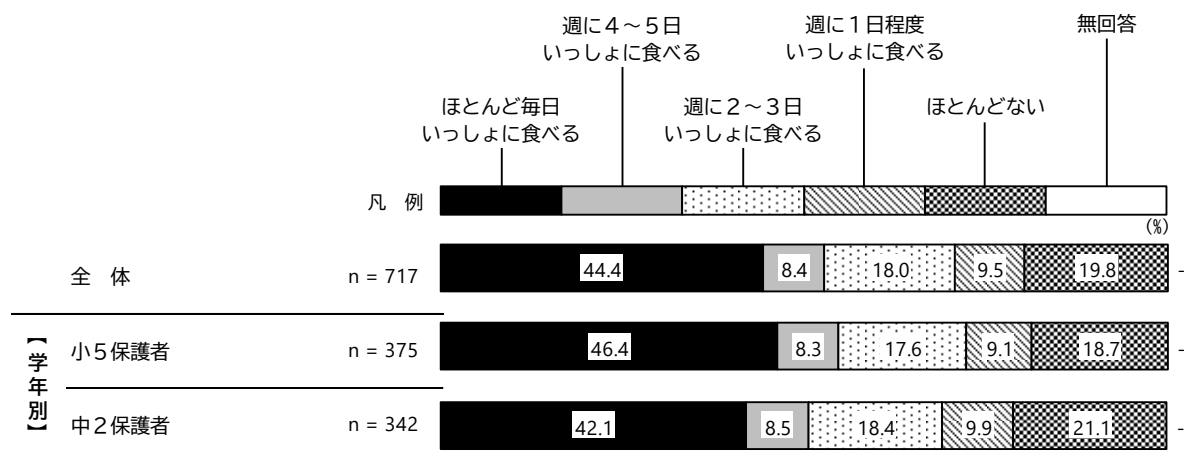
2-2-1 家族といっしょに食事する頻度（朝食）

▶ 朝食について、「ほとんど毎日いっしょに食べる」が44.4%と最も高く、次いで「ほとんどない」（19.8%）、「週に2～3日いっしょに食べる」（18.0%）となっています。

問4 あなたは、家族といっしょに食べることはどのくらいありますか。

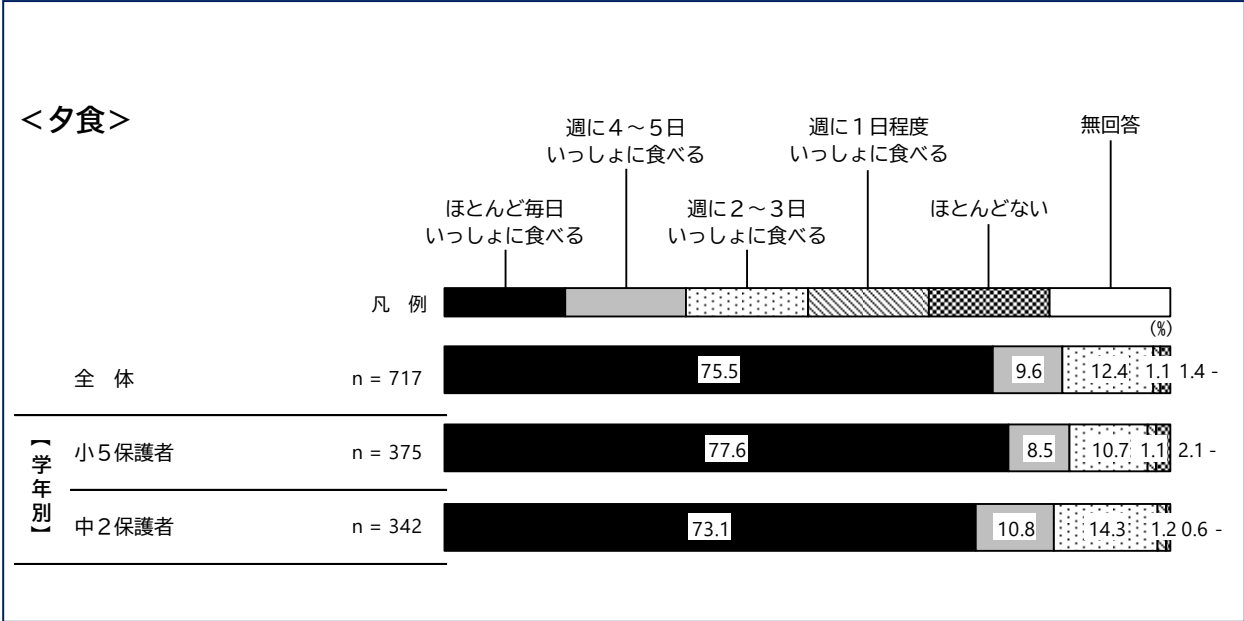
（それぞれに○は1つ）

<朝食>



2-2-2 家族といっしょに食事する頻度（夕食）

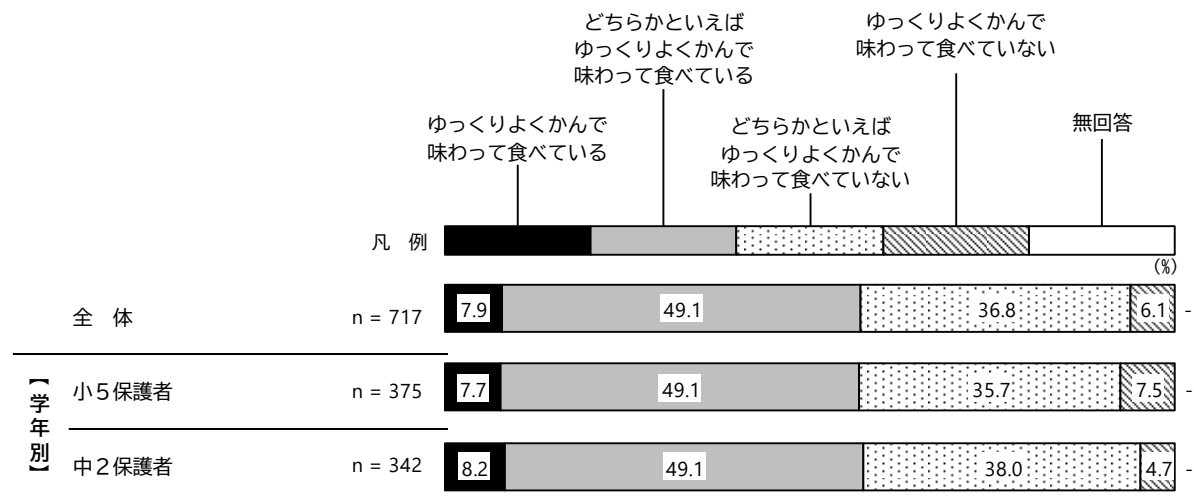
- ▶ 夕食について、「ほとんど毎日いっしょに食べる」が75.5%と最も高く、次いで「週に2~3日いっしょに食べる」(12.4%)、「週に4~5日一緒に食べる」(9.6%)となっています。
- ▶ 学年別にみると、小学生保護者、中学生保護者ともに「ほとんど毎日いっしょに食べる」が7割を超える結果となっています。



2-3 ふだんゆっくりよくかんで食べているか

▶ ふだんゆっくりよくかんで食べているかについて、「どちらかといえばゆっくりよくかんで味わって食べている」が49.1%と最も高く、次いで「どちらかといえばゆっくりよくかんで味わって食べていない」(36.8%)、「ゆっくりよくかんで味わって食べている」(7.9%)となっています。

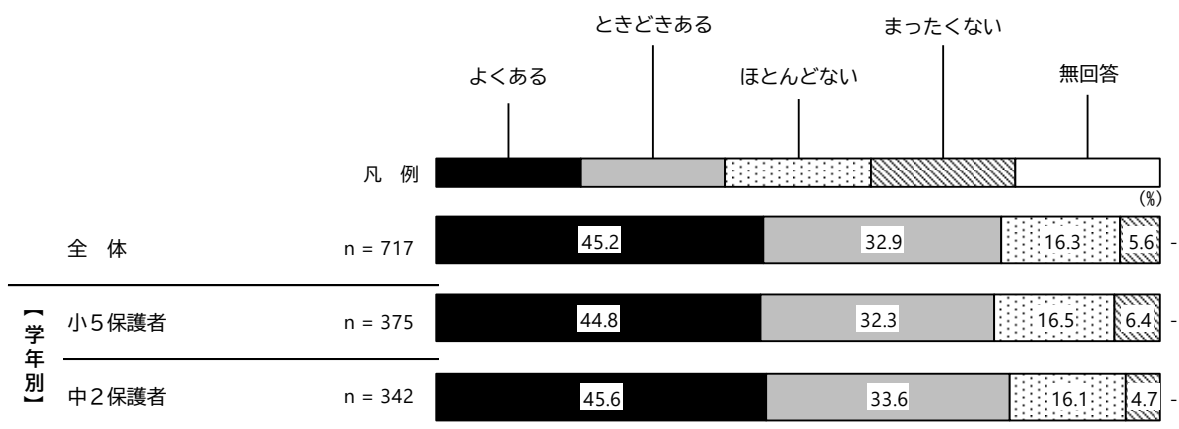
問5 あなたは、ふだんゆっくりよくかんで食べていますか。(○は1つ)



2-4 食事中にテレビ、スマートフォン（携帯電話）、タブレット、ゲームなどを見たり使ったりすることはあるか

- ▶ 食事中にテレビ、スマートフォン（携帯電話）、タブレット、ゲームなどを見たり使ったりすることはあるかについて、「よくある」が45.2%と最も高く、次いで「ときどきある」(32.9%)、「ほとんどない」(16.3%)となっています。
- ▶ 《ある》（「よくある」+「ときどきある」の合計）の割合をみると78.1%と、約8割の回答となっています。

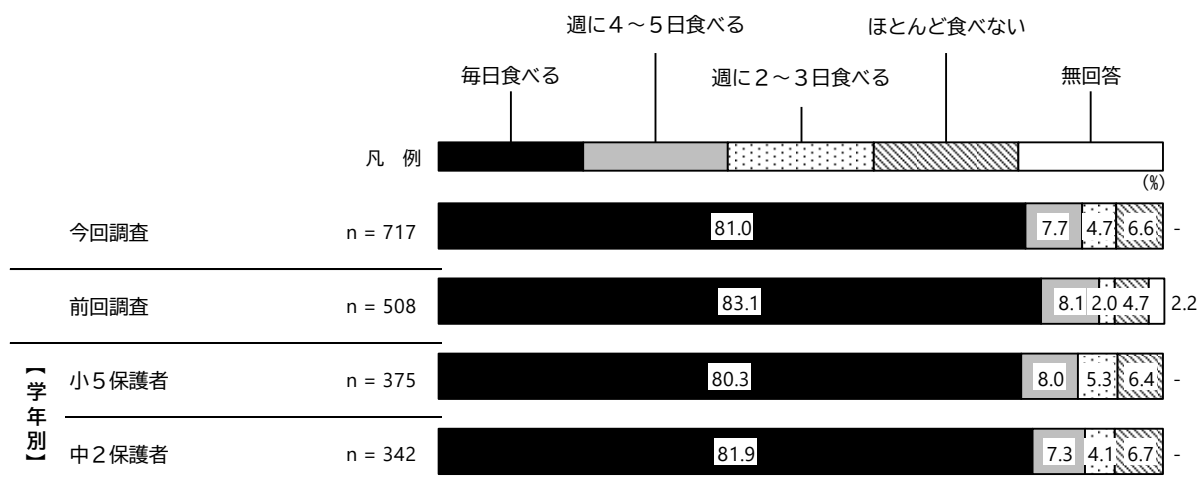
問6 あなたは、食事中にテレビ、スマートフォン（携帯電話）、タブレット、ゲームなどを見たり使ったりすることはありますか。（○は1つ）



2-5 朝食を食べるか

▶ 朝食を食べるかについて、「毎日食べる」が81.0%と最も高く、次いで「週に4～5日食べる」(7.7%)、「ほとんど食べない」(6.6%)となっています。

問7 あなたは、朝食を食べますか。(○は1つ)



※前回調査では選択肢が「毎日食べる」「週に2～3日食べない」「週に4～5日食べない」「ほとんど食べない」だったため、「週に2～3日食べない」⇒「週に4～5日食べる」、「週に4～5日食べない」⇒「週に2～3日食べる」に読み替えを行っています。

	H27年基準値	R3年中間評価	R7年調査	R8年目標値
朝食を毎日食べる人の割合	小中学生保護者 83.1%	小中学生保護者 88.5%	小中学生保護者 81.0%	小中学生保護者 90.0%以上

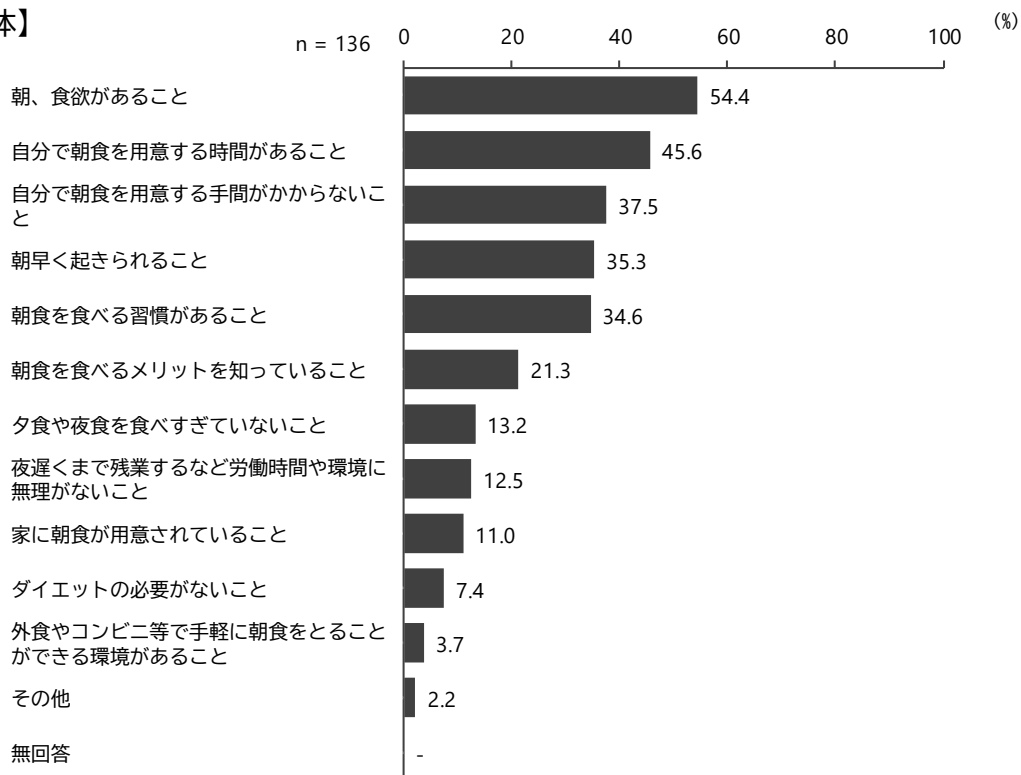
2-6 朝食を食べるために必要なこと

- ▶ 朝食を食べるために必要なことについて、「朝、食欲があること」が54.4%と最も高く、次いで「自分で朝食を用意する時間があること」(45.6%)、「自分で朝食を用意する手間がかからないこと」(37.5%)となっています。
- ▶ 学年別にみると、「朝、食欲があること」(小5保護者：59.5%、中2保護者：48.4%)、「自分で朝食を用意する手間がかからないこと」(小5保護者：43.2%、中2保護者：30.6%)では、中2保護者に比べ小5保護者の方が10ポイント以上高くなっています。

問8 問7で『毎日食べる』以外を選んだ人にお聞きします。

朝食を食べるために必要なことは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

【全体】



【学年別】

学年別	n	必要なこと (%)												
		朝、食欲があること	自分で朝食を用意する時間があること	自分で朝食を用意する手間がかからないこと	朝早く起きられること	朝食を食べる習慣があること	朝食を食べるメリットを知っていること	夕食や夜食を食べすぎしていないこと	夜遅くまで残業するなど労働時間や環境に無理がないこと	家に朝食が用意されていること	ダイエットの必要がないこと	外食やコンビニ等で手軽に朝食をとることができる環境があること	その他	無回答
全体	136	54.4	45.6	37.5	35.3	34.6	21.3	13.2	12.5	11.0	7.4	3.7	2.2	-
小5保護者	74	59.5	48.6	43.2	35.1	31.1	23.0	14.9	14.9	12.2	5.4	5.4	2.7	-
中2保護者	62	48.4	41.9	30.6	35.5	38.7	19.4	11.3	9.7	9.7	9.7	1.6	1.6	-

<その他の意見>

【小学5年生保護者】

- 朝早い仕事のため、朝は食事をとる時間がない。(女性 40代)

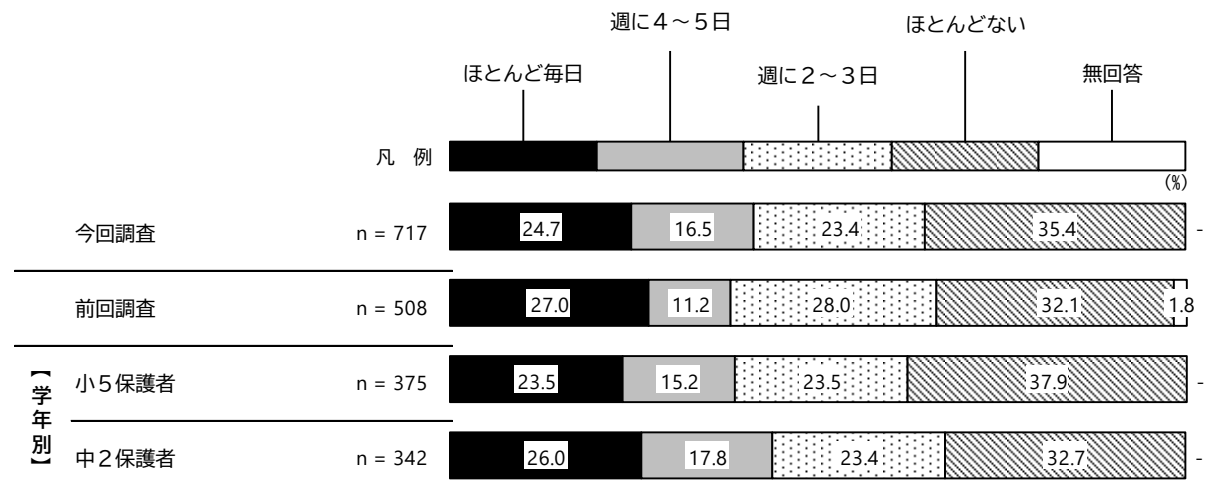
【中学2年生保護者】

- 専業主婦なら可能。(女性 50代)

2-7 朝食で、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度

- ▶ 朝食で、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べる頻度について、「ほとんどない」が35.4%と最も高く、次いで「ほとんど毎日」(24.7%)、「週に2~3日」(23.4%)となっています。

問9 あなたは、朝食で、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが、週に何日ありますか。(〇は1つ)

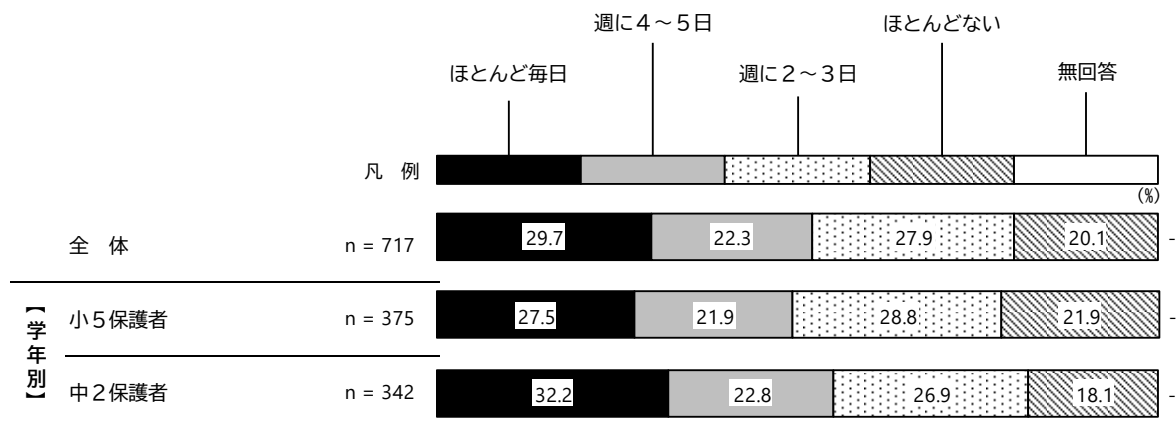


	H27年基準値	R3年中間評価	R7年調査	R8年目標値
主食・主菜・副菜を揃えた朝食をほとんど毎日食べる人の割合	小中学生保護者 27.0%	小中学生保護者 17.4%	小中学生保護者 24.7%	小中学生保護者 40.0%以上

2-8 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日2回以上あるか

▶ 主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日2回以上あるかについて、「ほとんど毎日」が29.7%と最も高く、次いで「週に2~3日」(27.9%)、「週に4~5日」(22.3%)となっています。

問10 あなたは、主食・主菜・副菜を3つそろえて食べることが1日2回以上あるのは、週に何日ありますか。(〇は1つ)



2-9 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の回数を増やすために必要なこと

- ▶ 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の回数を増やすために必要なことについて、「時間があること」が82.9%と最も高くなっています。次いで、「手間がかからないこと」(73.2%)、「食費に余裕があること」(53.8%)となっています。

問11 問10で『ほとんど毎日』以外を選んだ人にお聞きします。

主食・主菜・副菜を組み合わせた食事の回数を増やすために必要なことは何ですか。
(あてはまるもの全てに○)

		n	時間があること	手間がかからないこと	食費に余裕があること	自分で用意することが出来ること	3つ知っている(必要性を感じていること)	食欲があること	家に用意されていること	外食やコンビニ等で出来る環境があること	その他	わからない	無回答
全	体	504	82.9	73.2	53.8	25.6	13.9	13.5	9.3	2.2	1.8	0.4	-
【学年別】	小5保護者	272	81.6	73.9	52.9	22.4	14.3	13.2	9.6	2.6	1.5	0.7	-
	中2保護者	232	84.5	72.4	54.7	29.3	13.4	13.8	9.1	1.7	2.2	-	-

<その他の意見>

【小学5年生保護者】

- 準備するのに必要な気力と体力があること。(女性 50代)
- 家の近くにスーパーがあること。(女性 30代)
- 家族の協力があること。(女性 40代)

【中学2年生保護者】

- 精神的余裕があること。(女性 40代)
- 家事をする時間の確保。ワークライフバランスの確保。(女性 50代)

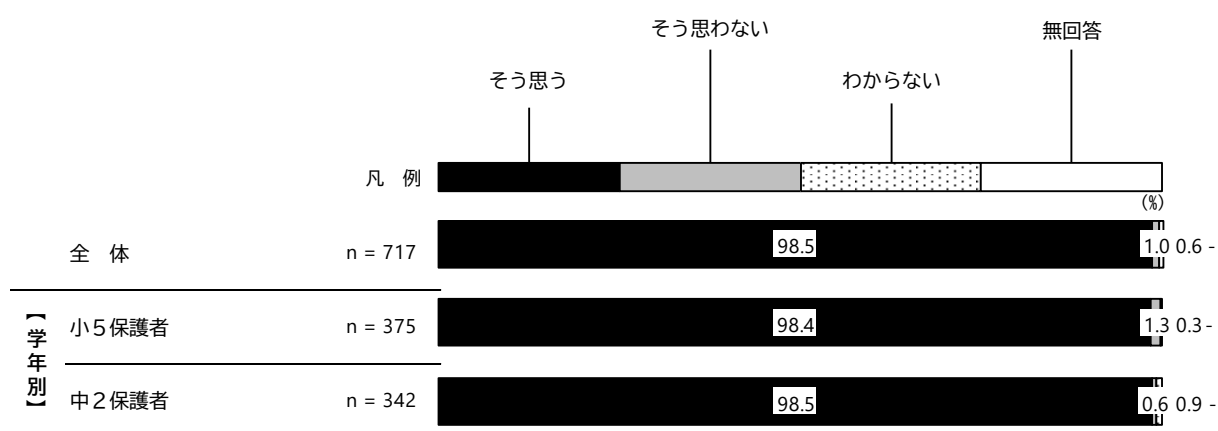
2-10 『主食・主菜・副菜を組み合わせた食事』だと思うか

①ごはん・焼き魚・とうふとわかめのみそ汁・ほうれん草のおひたし

▶ 『主食・主菜・副菜を組み合わせた食事』だと思うかについて、ごはん・焼き魚・とうふとわかめのみそ汁・ほうれん草のおひたしでは、「そう思う」が98.5%と9割以上が回答しており、「そう思わない」は1%程度となっています。

問12 次のメニューは、『主食・主菜・副菜を組み合わせた食事』だと思いますか。
4つそれぞれ答えてください。

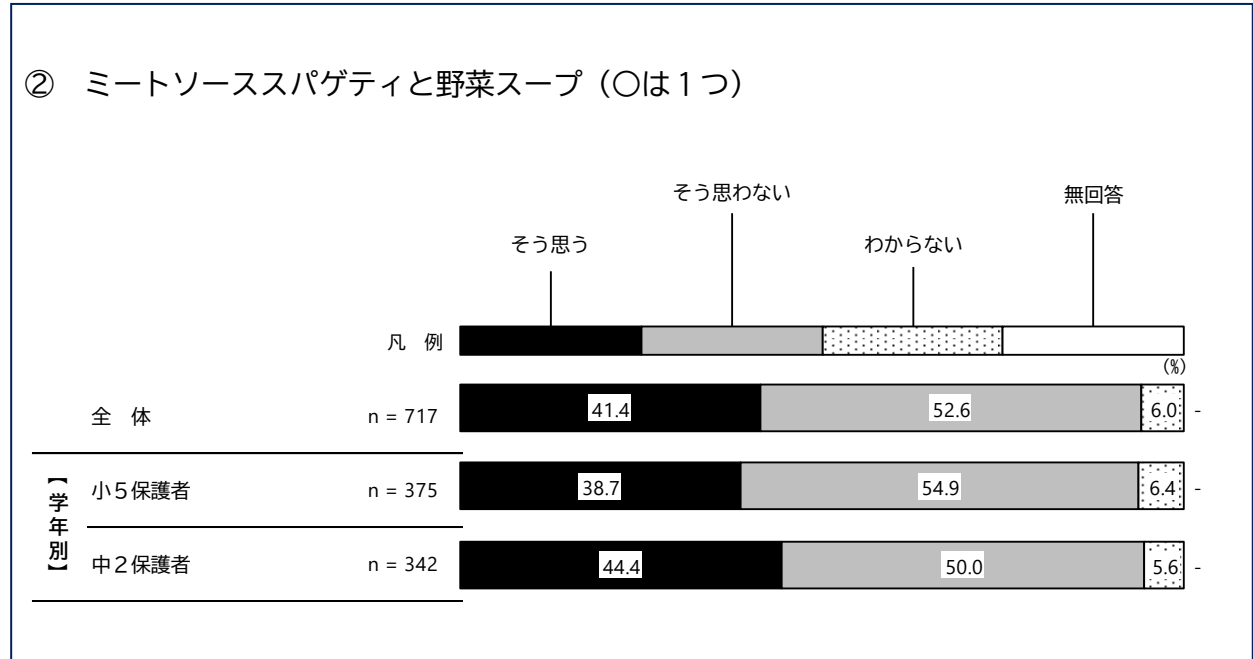
① ごはん・焼き魚・とうふとわかめのみそ汁・ほうれん草のおひたし (○は1つ)



2-10 『主食・主菜・副菜を組み合わせた食事』だと思うか

②ミートソーススパゲティと野菜スープ

- ▶ ミートソーススパゲティと野菜スープでは、「そう思わない」が52.6%と、「そう思う」(41.4%)を上回っています。その差は10ポイント以上となっています。
- ▶ 学年別にみると、中2年保護者では「そう思う」と「そう思わない」の差は10ポイント未満となっています。

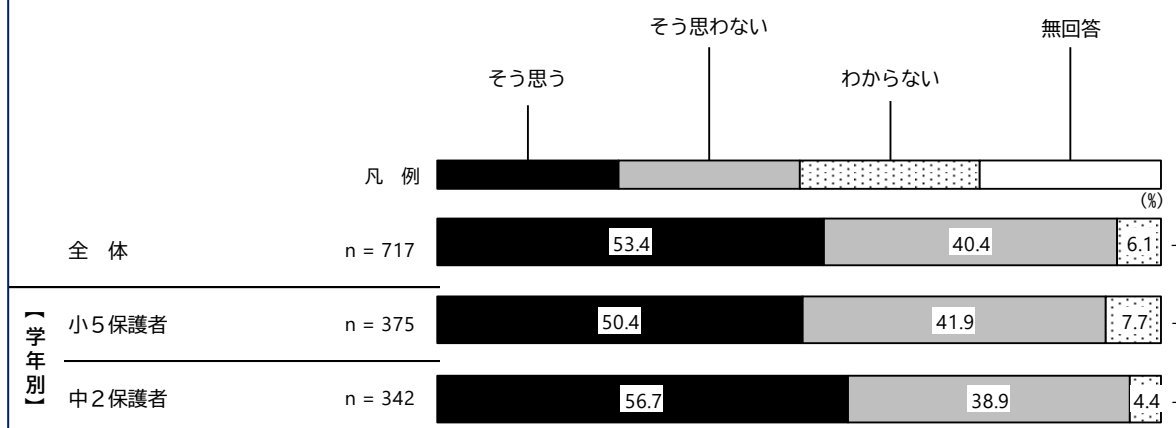


2-10 『主食・主菜・副菜を組み合わせた食事』だと思うか

③カレーライスとサラダ

- ▶ カレーライスとサラダでは、「そう思う」が53.4%と、「そう思わない」(40.4%)を上回っています。その差は10ポイント以上となっています。
- ▶ 学年別にみると、小5保護者では「そう思う」と「そう思わない」の差は10ポイント未満となっています。

③ カレーライスとサラダ (〇は1つ)

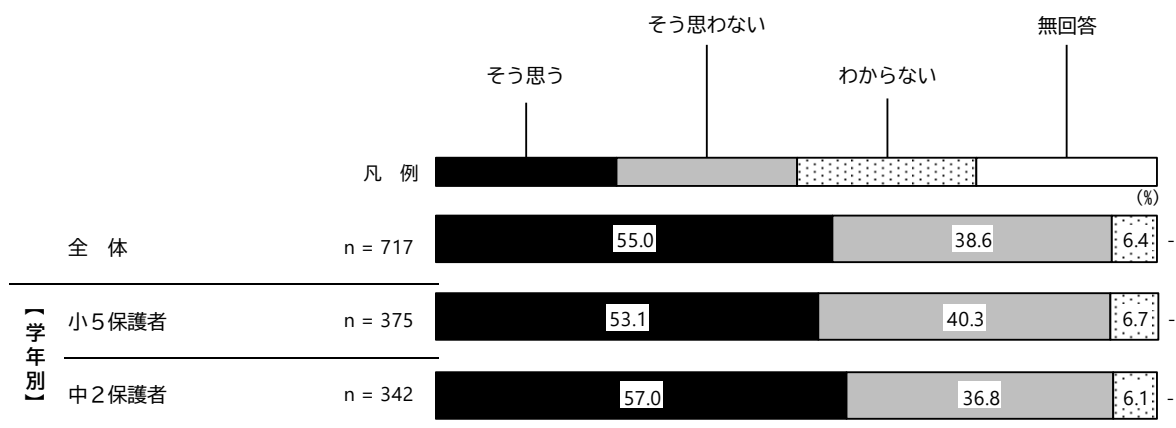


2-10 『主食・主菜・副菜を組み合わせた食事』だと思うか

④納豆ごはんと具たくさんの汁

▶ 納豆ごはん和具たくさんの汁では、「そう思う」が55.0%と、「そう思わない」(38.6%)を上回っています。その差は10ポイント以上となっています。

④ 納豆ごはん和具たくさんの汁 (○は1つ)

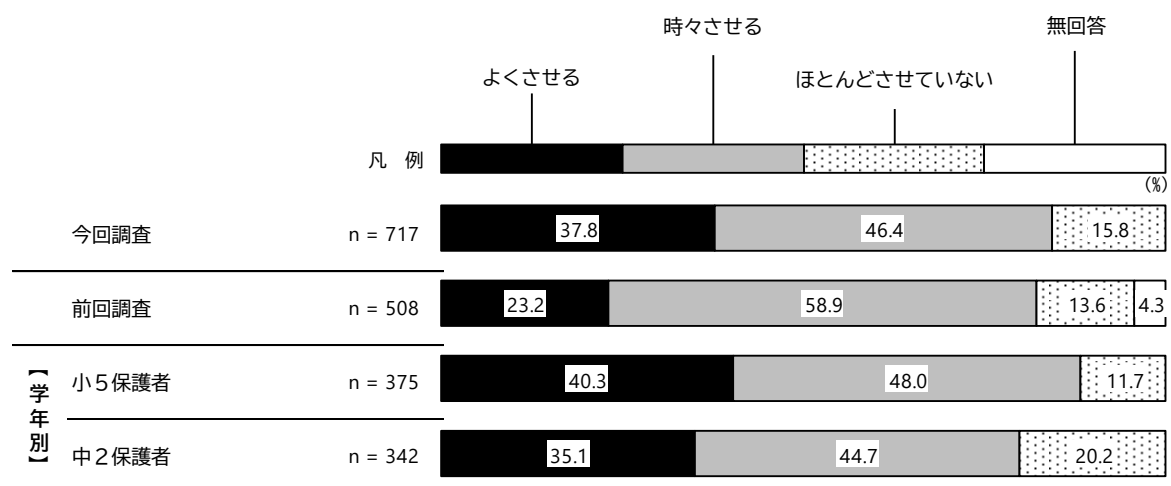


2-11 子どもに家で食事の手伝いをさせているか

- ▶ 子どもに家で食事の手伝いをさせているかについて、「時々させる」が46.4%と最も高く、次いで「よくさせる」(37.8%)、「ほとんどさせていない」(15.8%)となっています。
- ▶ 前回調査と比較すると、「よくさせる」が前回(23.2%)と比べて、10ポイント以上高くなっています。
- ▶ 学年別にみると、中2保護者では「ほとんどさせていない」が20.2%と、小5保護者(11.7%)と比べて、約10ポイント高くなっています。

問13 あなたは、お子さんに家で食事の手伝いをさせていますか。(○は1つ)

※食事の手伝いとは、買い物、料理の手伝い、テーブル準備、後片付け、食器洗いのいずれか、または一連のことです。

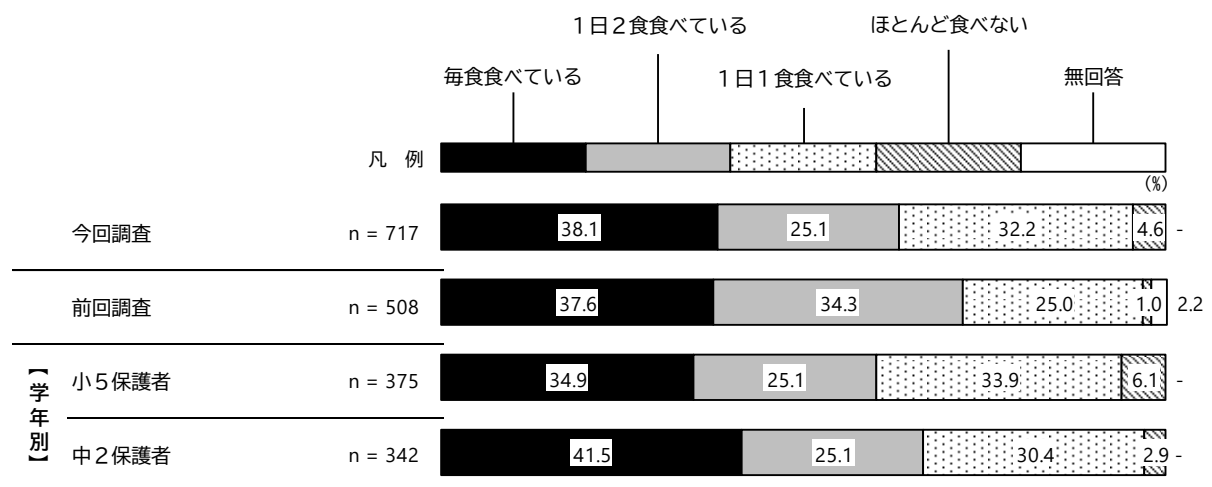


	H27年基準値	R3年中間評価	R7年調査	R8年目標値
子どもに家で食事の手伝いをさせている人の割合	小中学生保護者 82.1%	小中学生保護者 84.0%	小中学生保護者 84.2%	小中学生保護者 90.0%以上

2-12 野菜を食べているか

- ▶ 野菜を食べているかについて、「毎食食べている」が 38.1%と最も高く、次いで「1日1食食べている」(32.2%)、「1日2食食べている」(25.1%)となっています。
- ▶ 前回調査と比較すると、「1日1食食べている」が前回(25.0%)と比べて、約10ポイント高くなっている一方、「1日2食食べている」(今回：25.1%、前回：34.3%)は低くなっています。

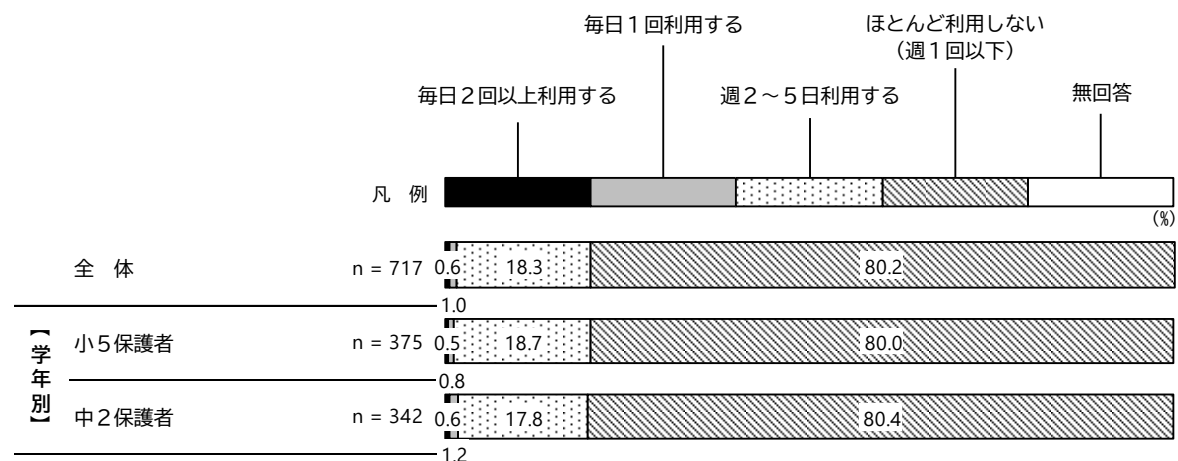
問14 あなたは、野菜を食べていますか。(○は1つ)



2-13 外食の利用頻度

- ▶ 外食の利用頻度について、「ほとんど利用しない（週1回以下）」が80.2%と最も高く、次いで「週2～5日利用する」（18.3%）、「毎日1回利用する」1.0%となっています。

問15 あなたは、外食（飲食店での食事）をどのくらい利用しますか。（○は1つ）



<よく利用する飲食店>

【小学5年生保護者】

- ファストフード。(男性 30代)
- ラーメン、テイクアウト出来るお店 (ほっともっと、すき家、マック)。(女性 30代)
- 焼肉店、回転寿司。(女性 40代)

【中学2年生保護者】

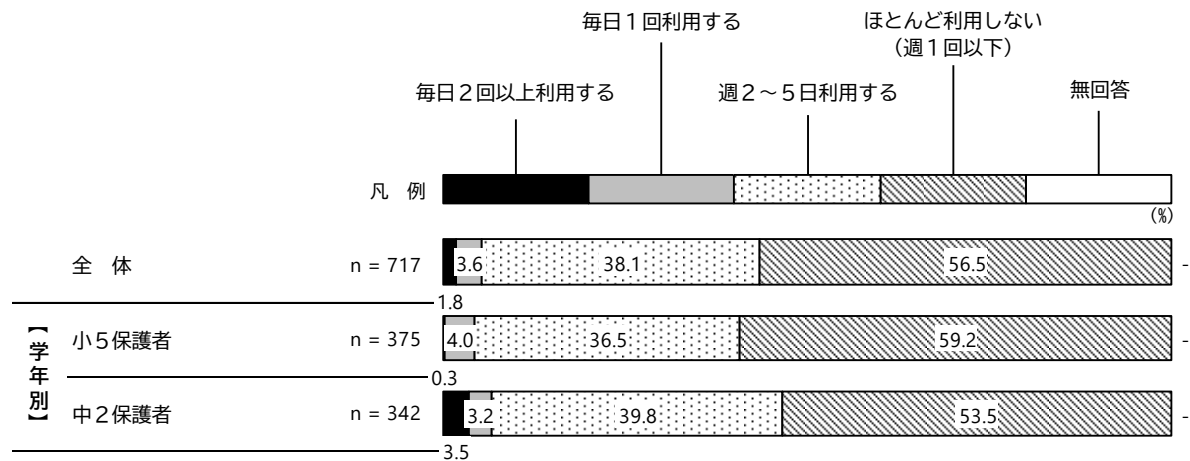
- カフェ。(女性 30代)
- 回転寿司、ラーメン、フードコート。(男性 40代)
- 全国チェーンの店。(女性 50代)

2-14 市販の弁当や総菜の利用頻度

- ▶ 市販の弁当や総菜の利用頻度について、「ほとんど利用しない（週1回以下）」が56.5%と、半数以上を占め、次いで「週2～5日利用する」（38.1%）、「毎日1回利用する」（3.6%）となっています。

問16 あなたは、市販の弁当や総菜をどのくらい利用しますか。（○は1つ）

※スーパー、コンビニ、弁当チェーン、飲食店などで販売している弁当・調理済み食品・総菜などのテイクアウトのもの、宅配のピザ・中華・寿司などのデリバリーのもの全て含む



<よく利用する市販の弁当や総菜>

【小学5年生保護者】

- 食パンを購入してジャムなどを塗って食べている。(男性 30代)
- お弁当用の冷凍食品。(女性 30代)
- ポテトサラダ、おから、きんぴらごぼう。(男性 40代)
- 主菜になるようなお惣菜。(女性 40代)
- コンビニ弁当。(男性 50代)
- 冷凍食品の調理済み肉類。(女性 50代)

【中学2年生保護者】

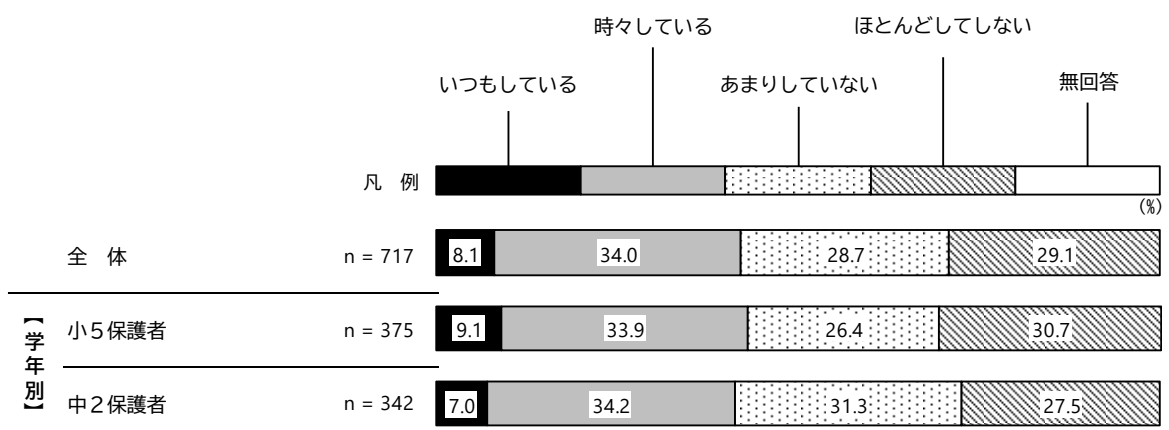
- おつまみ。(男性 40代)
- スーパーのお惣菜、お弁当、冷凍食品、レトルト食品、デリバリーのピザ、回転寿司や牛丼のテイクアウト。(女性 30代)
- コロッケ、おひたし等の副菜の位置づけのもの。(女性 40代)
- 揚げ物など手間のかかる総菜。(女性 50代)

2-15 外食時や食品購入時に栄養成分表示を参考にしているか

- ▶ 外食時や食品購入時に栄養成分表示を参考にしているかについて、「時々している」が34.0%と最も高く、次いで「ほとんどしていない」(29.1%)、「あまりしていない」(28.7%)となっています。
- ▶ 《している》(「いつもしている」+「時々している」の合計)の割合をみると、42.1%と半数以下の回答となっています。

問 17 ふだん外食をするときや食品を買うときに、栄養成分表示を参考にしていますか。

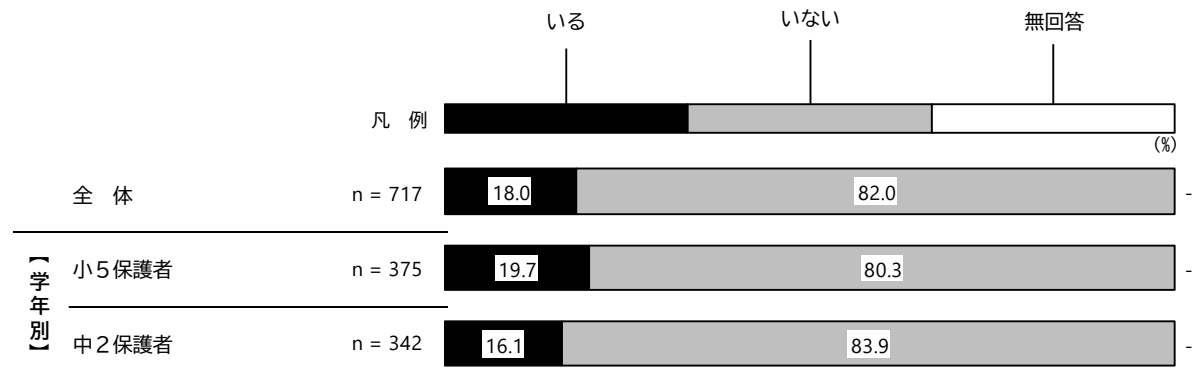
(○は1つ)



2-16 自身または家族に食物アレルギーがある人はいるか

- ▶ 自身または家族に食物アレルギーがある人はいるかについて、「いる」が18.0%、「いない」が82.0%となっています。

問18 ご本人またはご家族に食物アレルギーがある方はいますか。(○は1つ)

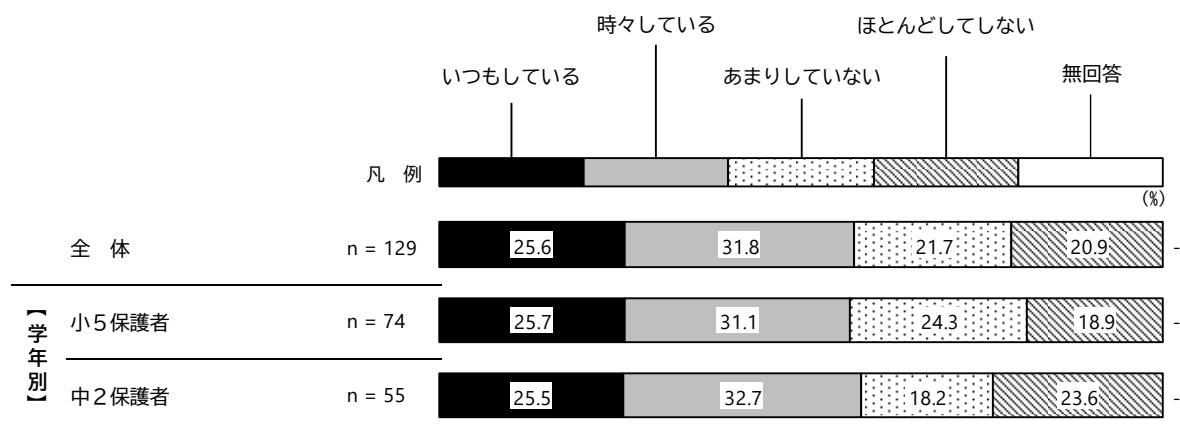


2-17 食品購入時や飲食店選択時にアレルギーの表示を参考に行っているか

- ▶ 食品購入時や飲食店選択時にアレルギーの表示を参考に行っているかについて、「時々している」が31.8%と最も高く、次いで「いつもしている」(25.6%)、「あまりしていない」(21.7%)となっています。
- ▶ 《している》(「いつもしている」+「時々している」の合計)の割合をみると、57.4%と半数を超える結果となっています。

問19 ご本人またはご家族に食物アレルギーがある方に質問します。

食品を買うときや、飲食店を選択するときに、「アレルギー」の表示を参考にしていますか。(〇は1つ)



2-18 食事を準備する際に負担だと思ふこと

- ▶ 食事を準備する際に負担だと思ふことについて、「献立を考えるのが大変」が78.7%と最も高く、次いで「作る時間がない」(42.4%)、「料理作りが苦手」(30.1%)となっています。

問 20 あなたは、食事を準備する時に、負担だと思ふことは何ですか。

(あてはまるもの全てに○)

(%)

		n	献立を考えるのが大変	作る時間がない	料理作りが苦手	作っても子どもが食べない	家族の協力ががない	経済的に余裕がない	食材を買う時間がない	その他	無回答
全	体	717	78.7	42.4	30.1	26.2	17.3	13.4	12.3	6.6	-
【学 年 別】	小5保護者	375	75.7	42.7	30.1	29.3	15.2	12.3	12.3	7.7	-
	中2保護者	342	81.9	42.1	30.1	22.8	19.6	14.6	12.3	5.3	-

<その他の意見>

【小学5年生保護者】

- 疲れて作りたくない日もある。(女性 40代)
- 料理があまり楽しくない、ノルマになってしまう。(女性 30代)

【中学2年生保護者】

- 家族の好き嫌いが分かれる。(女性 40代)
- 品数を増やそうとすると洗い物が増える。(女性 30代)
- 仕事後に買い物、掃除などをやりつつ、夕食や翌日の弁当の準備をすることが、体力的に大変。(女性 40代)

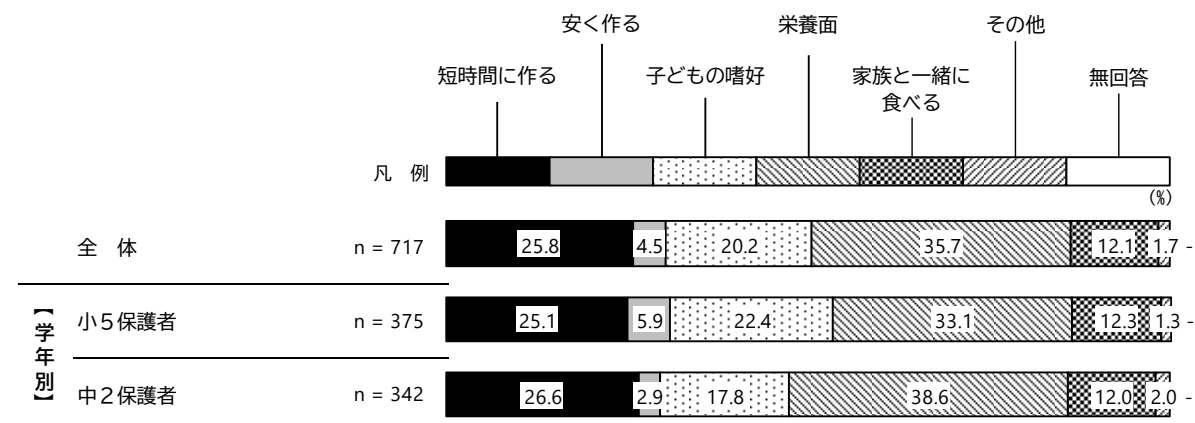
V 小中学生保護者調査結果

2-19 食事を準備する際に重視すること

- ▶ 食事を準備する際に重視することについて、「栄養面」が35.7%と最も高く、次いで「短時間に作る」(25.8%)、「子どもの嗜好」(20.2%)となっています。

問 21 あなたが、食事を準備する時に、重視することは何ですか。

(最も重視すること1つに○)



<その他の意見>

【小学5年生保護者】

- 何かしら調理をする。(性別無回答 40代)

【中学2年生保護者】

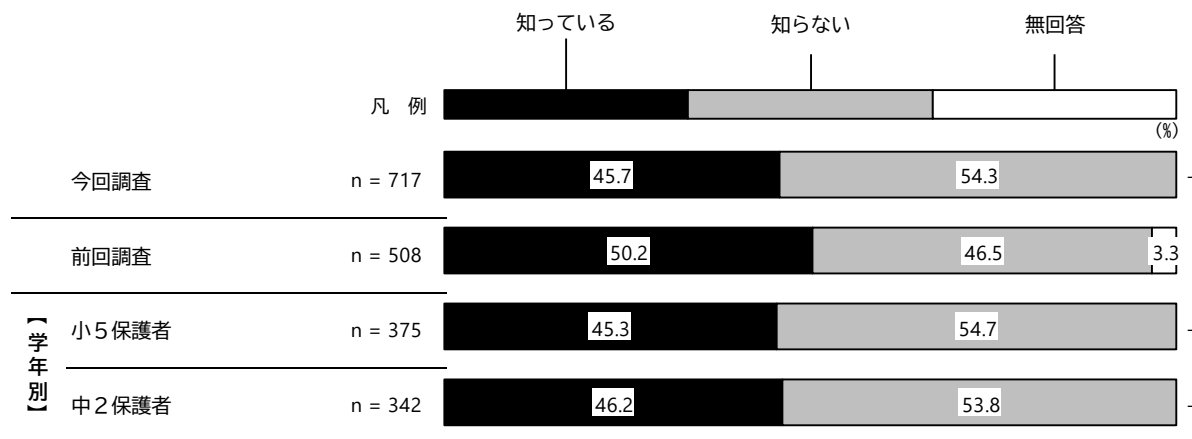
- なるべく添加物の入らない物を使う。(女性 30代)
- 夫と子どもの好みの擦り合わせ。(女性 40代)
- 肉か魚が1品、副菜に野菜を含む物を1品、その他小鉢のような物を1品、出来ればバランス良くなればと思っている。(女性 50代)

3 富谷市の農産物や食について

3-1 富谷市産農産物の入手先の認知度

▶ 富谷市産農産物の入手先の認知度について、「知っている」が 45.7%、「知らない」が 54.3%となっています。

問 22 あなたは、富谷市産の農産物がどこで入手できるか知っていますか。(○は1つ)



	H27 年基準値	R3 年中間評価	R7 年調査	R8 年目標値
富谷市産の農産物がどこで入手できるか知っている人の割合	小中学生保護者 50.2%	小中学生保護者 56.0%	小中学生保護者 45.7%	小中学生保護者 80.0%以上

<知っている富谷市産の農産物の入手先>

【小学5年生保護者】

- スーパーなどの地産地消コーナー、あじわいなどの物産店。(女性 30 代)
- イトー、元気くん市場、コープ。(女性 40 代)
- イオンの特設コーナー。(女性 50 代)
- 道の駅コーナー等。(性別無回答 40 代)

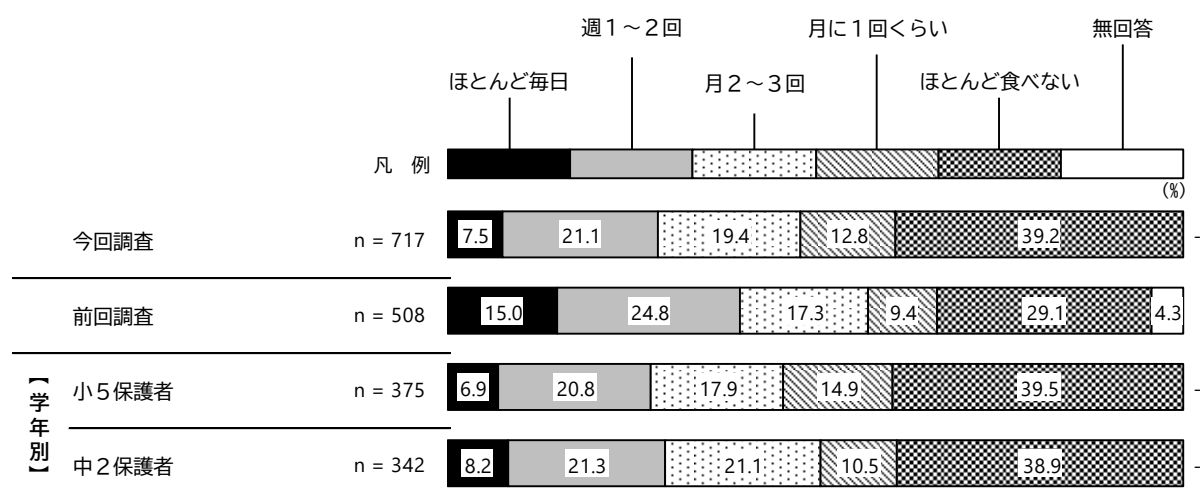
【中学2年生保護者】

- 産直市場。(女性 30 代)
- ビッグハウス、食品館イトー、デイリーポート。(女性 40 代)
- ヤマザワ、JA 直売所。(女性 50 代)

3-2 家で黒川地域産の農産物を食べる頻度

- ▶ 家で黒川地域産の農産物を食べる頻度について、「ほとんど食べない」が39.2%と最も高く、次いで「週1~2回」21.1%、「月2~3回」(19.4%)となっています。
- ▶ 前回調査と比較すると、「ほとんど食べない」が前回(29.1%)と比べて、10ポイント以上高くなっている一方、「ほとんど毎日」(今回:7.5%、前回:15.0%)は低くなっています。

問23 あなたは、家で黒川地域産の農産物を食べますか。(○は1つ)



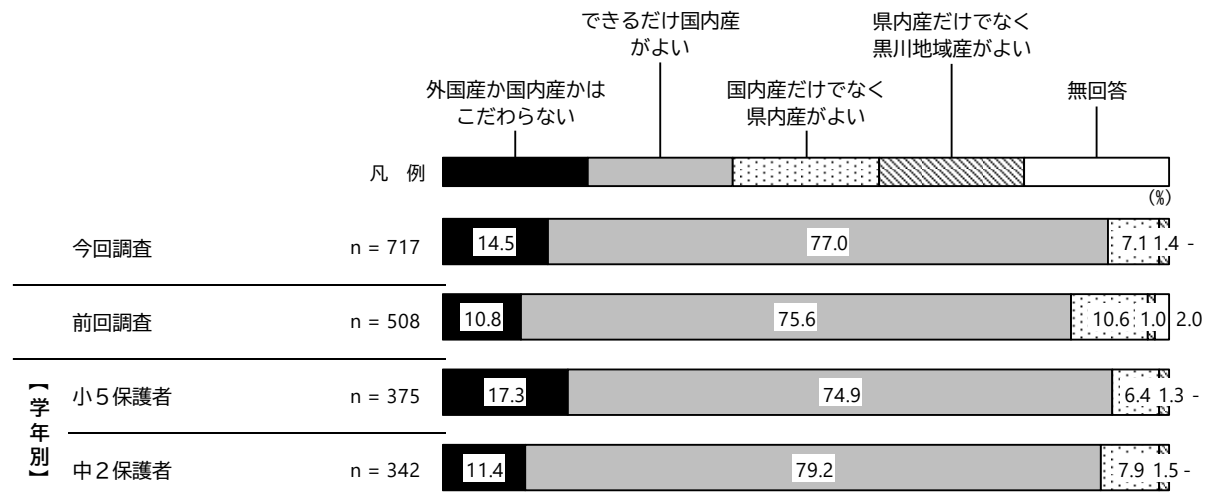
	H27年基準値	R3年中間評価	R7年調査	R8年目標値
家で黒川地域産の農産物を月に1回以上食べる人の割合	小中学生保護者 66.5%	小中学生保護者 65.6%	小中学生保護者 60.8%	小中学生保護者 80.0%以上

3-3 農産物を購入する際の産地についての考え方

- ▶ 農産物を購入する際の産地についての考え方について、「できるだけ国産がよい」が77.0%と最も高く、次いで「外国産か国内産かはこだわらない」(14.5%)、「国内産だけでなく県内産がよい」(7.1%)となっています。

問 24 農産物を購入する際、産地についてあなたの考えに近いものはどれですか。

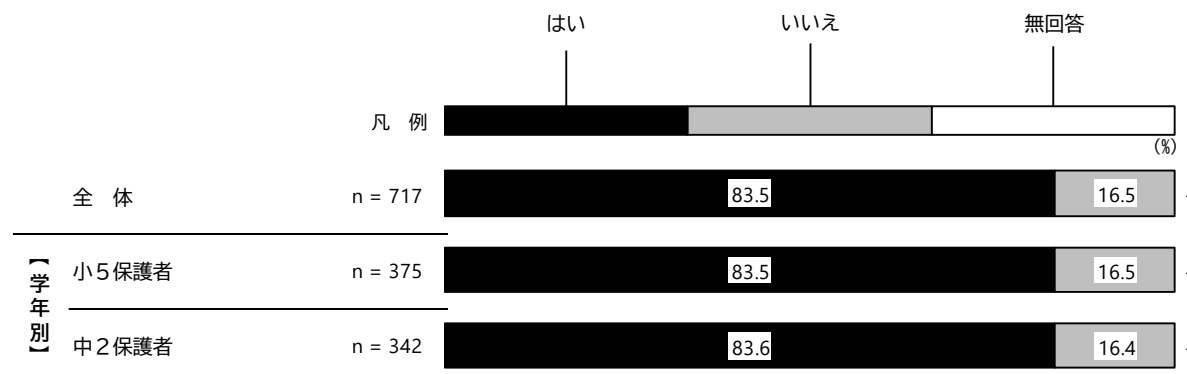
(○は1つ)



3-4 普段食品ロスを意識して何かに取り組んでいるか

▶ 普段食品ロスを意識して何かに取り組んでいるかについて、「はい」が 83.5%、「いいえ」が 16.5%となっています。

問 25 あなたは、ふだん、食品ロスを意識して何かに取り組んでいますか。(○は1つ)
 ※食品ロスとは、売れ残りや食べ残しなど、本来食べられるのに捨てられてしまう食品。もともと食べられない部分(骨、種など)は食品ロスには含まれない。



<食品ロスへの取り組み>

【小学5年生保護者】

- 使い切り食品や、見切り野菜、手前の商品を買う。(女性 30代)
- 日付管理、鮮度管理。(女性 30代)
- 冷蔵庫にある食材を把握する。(女性 40代)
- 残さないように食べられる分を盛る。必要ならおかわりをしてもらう。(女性 40代)
- その週に使い切れるだけ買う。買い置きはほとんどしない。(女性 50代)

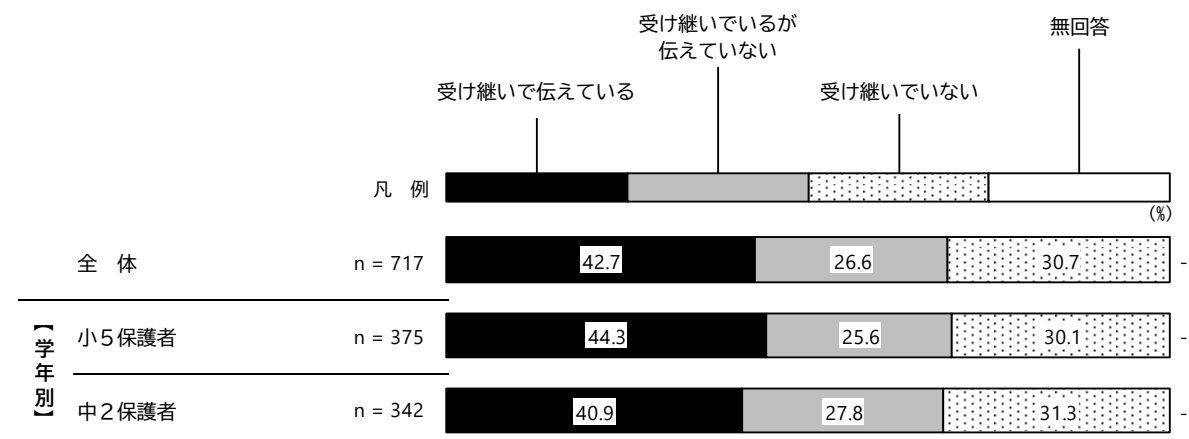
【中学2年生保護者】

- 調理するものは食べ切れる量を作る。足りないときは日持ちするもの(ヨーグルトや果物)を追加で食べさせる。(30代女性)
- 賞味期限切れになりそうなものから使用する。食べ切れる量を作る。残さず食べる。(男性 40代)
- すぐ食べる物は賞味期限の近い物から買う。(女性 40代)
- 高くても少量パックを買う。(女性 50代)

3-5 地域や家庭で受け継がれた料理・味、食べ方や作法を受け継いで、次世代に伝えているか

- ▶ 地域や家庭で受け継がれた料理・味、食べ方や作法を受け継いで、次世代に伝えているかについて、「受け継いで伝えている」が42.7%と最も高く、次いで「受け継いでいない」(30.7%)、「受け継いでいるが伝えていない」(26.6%)となっています。
- ▶ 《受け継いでいる》(「受け継いで伝えている」+「受け継いでいるが伝えていない」の合計)の割合をみると、69.3%と約7割の回答となっています。

問26 あなたは、地域や家庭で受け継がれてきた料理(郷土料理や家庭料理)・味、箸使い等の食べ方・作法を受け継いで、次世代に伝えていますか。(○は1つ)



<受け継いで、伝えていること>

【小学5年生保護者】

- 特産品(ブルーベリーや油麩)など食卓に出すときは、富谷で有名な食材だよ!と伝える。(女性30代)
- 箸の使い方や食器の配置、食べ方など。(男性40代)
- 自分が子どもの頃の事や祖母から聞いた話し等子ども達に話すようにしている。(女性40代)

【中学2年生保護者】

- 箸の使い方、食べる時の姿勢、骨がある魚の食べ方等。(女性30代)
- 食事のマナーと感謝の気持ち。(男性40代)
- 十五夜、七草粥、恵方巻きなど行事の食べ物の楽しみ方。(女性40代)
- いも煮の文化。(女性50代)